

野球部区大会優勝！ 他も活躍多し



吾孺二中 ニュースレター

墨田区立吾孺第二中学校

令和5年7月3日(月)

校長 駒田 るみ子

6月24日土曜日実施

第1回学校運営連絡協議会

今年度の学校経営方針や経営計画をお示しし、これまで同様の御協力をいただいております。八広小学校 PTA 会長橋本亮様、本校第12代校長の林忠義様、PTA 副会長森下恵美子様、生活指導主任尾科賢太郎主任教諭が新しいメンバーとして加わっております。学校や保護者だけでなく地域の皆様の御協力があることは子供たちにとってとてもありがたく貴重なことです。今年もよろしくお祈りします。

6月24日土曜日実施

道徳授業地区公開講座

道徳授業公開後の協議会では保護者や地域の方々から、貴重な御意見をいただきました。教材に対する御感想や家庭での御指導に活かしていただけるお話、また授業態度に関する御意見などをいただき、大変参考になりました。やはり実際に見ていただくことが一番伝わると思った次第です。

6月27日火曜日実施

生徒会主催清掃ボランティア

秋山生徒会長に、話を聞きました。「今回は今までで一番多くの生徒が集まり嬉しい。お互いに協力する場面が作れるし、何より学校がきれいになり自分たちだけでなく来校者の方が喜んでくださることも嬉しい。せっかくやるのだから意義があるものにしたい。」力強い言葉が頼もしく印象的でした。今後も主体的な活動を大切にします。

互いに讃えよう(朝礼講話を一部お伝えします)

校長 駒田 るみ子

7月に入り、梅雨明けかと思われるほどの晴天です。第1週は全校朝礼です。整然と並んでいる生徒たちに改めて、コロナ禍の影響を受けずに教育活動ができていることに感謝しています。今日の朝礼では多くの生徒たちが部活の大会の表彰を受けました。野球部の優勝、バドミントン部のシングルス優勝をはじめとし、多くの部活が入賞を果たしました。(裏面参照)

さて、今日はたくさんの表彰がありましたので互いに讃えることそして、その難しさについても例を挙げて話をしました。混み合っている新幹線が東京駅に着き乗客が降りようと通路に並び始めた時に、私の前にある人が通路に立ちました。その人は自分の隣にいた人に自分より先にどうぞと、譲っていました。しかし、譲るためには自分が後ろに下がらなくてはならず、後ろにいた私にぶつかってしまいました。さらにリュックを背負ったまま後ろを振り向いたので、まだ座っていた人の肩や頭にリュックがぶつかってしまいました。「お先にどうぞ」という考え方はとてもよいことで、周りの人達も心が温かくなります。けれど時に、想像力が欠けてしまうと、せっかくのよい行動が迷惑をかけるということにもなる場合があります。

皆さんが後ろに立っている人だったら、またはまだ座っている人でリュックが当たってしまったとしたら、どう考えますか。全く困ったものだと思いをあらわにするでしょうか。それともこの人の温かな行為の方を大事と考えよい場面だと考えるでしょうか。私はその人が後ろに下がってぶつかってきた時はびっくりしましたが、知らない人にこんなふうに声をかけるなんていい人だなあ、と思っていました。

学校生活の中では、同様のことがたくさんあります。よかれと思ってしたことが、よい結果を生まないこともあります。けれど、大人はもちろん、生徒の皆さんにはその行為の真の意志を読み取ってほしいです。何かをしようとする時には、周りは大丈夫か迷惑をかけていないかと想像力のアンテナを高くすることも必要です。でも小さな失敗はお互い許し合い、指摘して直すこととし、その善行に目を向け互いに讃え合える関係だとよりすばらしい関係になるのではないのでしょうか。

